

事前評価書

年度	R3
整理番号	

事業名・路線名等		道路改良事業 一般県道 <small>よしの ばるいぬかい ひらの</small> 吉野原犬飼線(平野工区)	事業主体	大分県
所在地		臼杵市野津町大字 <small>ちづか</small> 千塚		
事業概要	事業の目的	・2車線の現道拡幅整備により幅員狭小、線形不良箇所を解消し、走行性、安全性の向上を図る		
	事業内容	【計画延長・幅員】 L=930m(現道拡幅)、W=5.5(7.0)m 【道路区分】 第3種第4級 【設計速度】 V=30km/h 【計画交通量】 434台/日 (R12) 【現況幅員・交通量】 W=3.0(4.0)m 交通量 425台/日(R3.11実測)		
	事業費	C=740百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から9年(令和12年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 測量、設計 2年目 測量、設計、調査 3年目 設計、調査、用地買収補償 4年目 用地買収補償、道路工事 5年目 用地買収補償、道路工事 6年目 道路工事 7年目 道路工事 8年目 道路工事 9年目 道路工事 完成		
事業の必要性	必要性・緊急性	・幅員狭小、線形不良による離合困難により、走行性、安全性が低い。 ・近隣に重機試験場があり大型車両が通行。		
	整備効果	・道路利用者の走行性、安全性の向上。		
事業手法・工法の妥当性	費用対効果分析	幅員狭小区間の解消(一次改築)であり、防災面・交通安全の観点からも評価(参考B/C≒0.4)		
	工法の妥当性	・道路構造については道路構造令を満足するものとなっている。 ・ルート比較を行い、最も経済的なルートを選定。		
	コスト縮減	・アスファルト、砕石は再生材を利用。		
	環境等への配慮	・現道を活用し、土地の改変を最小限に抑制。		
事業実施環境	事業の実効性	・臼杵市から要望書が提出されている。 ・地元自治会からは要望は強く、地元の協力体制は整っている。		
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき、安全かつ円滑な交通を確保できる構造とすべく事業を実施 ・「安心・活力・発展プラン2015(2020改訂版)」、「おおいた土木未来プラン2015(改訂)」、「大分県長期道路整備計画『おおいたの道構想2015』」に基づき事業実施		
	事業の特殊性	・特になし		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい。		

事業箇所位置図

